

愛ランドまつやま

発行：松山離島振興協会 / 文責：会長 田中政利

【お問い合わせ先】

事務局長 俊成雅直 TEL：997-2189 メール：shima@island-matsuyama.com



登山道の案内板設置直後に小富士山を訪れたご夫婦と記念撮影



興

居島の 小富士の頂

拓きては

忽那の早瀬の 美しき哉

遙かに望む 周防の島よ

かの地に渡りて 顧みたり



しま二朗

興居島のシンボル小富士山は、標高282mの美しい稜線を誇る、登山愛好家には有名な山。四国の山々を紹介した山岳ガイド誌で一番目に紹介されているなど松山を代表する山の一つです。その精緻な容貌の小富士山も、頂上では竹や雑木に蔓科の植物が絡まり、かつてのすばらしい眺望は失われ、登山者の数が激減しました。

そこで2年前の春、松山離島振興協会が初めて山頂の竹刈りを行い、まずは高浜側の眺望を、続く昨春の作業で島の西側に釣島の姿を見ることができました。そして今年4月3日、愛大生を含む総勢二十二名の奮闘で東西にさらなる絶景を得、小富士山の魅力はますます高まりました。また今回は、懸案であった登山道の案内板も併せて設置しました。以前から泊港前の県道からの上がり口にはプラスチック製の案内板がありましたが、中腹の農免道路から少し登ると道は二手に分かれ、右手へ進むと砂防ダムに突き当たります。小富士山をめざす人が一度は間違えてしまうほど何の目印もない地点でしたので、案内板の設置は地元でも望まれていたことでした。

案内板製作には、三津浜地区で代々製材所を営む瀬村理事が案内板にびつたり材を提供の上、脚の組み立てからニス塗りまでの作業を一手に引き受けてくれました。その案内板に堂々の文字を筆入れしてくれたのは、興居島は門田地区にお住まいの谷田 伝（つと）さん。

谷田さんはこれまでも島内のさまざまな看板書きを依頼されていて、その豪快かつ端正な文字は船越和氣比賣神社でも拝見できます。今回完成の矢じり型の趣ある案内板の中に配された谷田さんの力強い筆致が、山登りの楽しさをより一層伝えてくれることになりました。

さて、そんな3回目の竹刈り作業を終え、山を下った面々と出会ったのは、上のお写真のご夫婦。お墓参りのついでにと思いつかれた小富士山登山。案内板にとってはさっそくのお客様となりました。みなさんも、この案内板を目印に、小富士山頂をめざしてみませんか。

5年間の営みを振り返る…。

—松山離島振興協会 第6回総会が開催—



中島総合文化センター大会議室で開催された第6回の総会。総会を閉じた後、参加者一人ひとりが順に、島への思いや夢などを語ってくれました。

平成二十三年五月十五日、中島総合文化センターで、松山離島振興協会の第6回総会を開催いたしました。例年の四月開催からひと月遅れの開催とした今回の総会には、会員総数六十九人中、出席会員二十五人、委任状提出会員三十三人の計五十八人の参加をいただき、賛助会員三人が傍聴される中、人事案件のほか、決算案、予算案など諸議案を慎重審議いただきました。

冒頭、田中会長があいさつで、しまはくの感想のほか、しまはく終了後に「松山島博覧会実行委員会」の後に設立された「まつやま里島ツーリズム協議会」の会長に就任したことにふれ、今後の松山市の野志新体制との連携等についても決意のほどを表明しました。議案審議では、まず人事案件が諮られ、石崎汽船の中矢理事の後任として、中島汽船の村上良二氏が新理事として選任されたほか、中本理事及び竿尾理事の後任については空席とすることにしました。その後、しまはくでは、その側面並びに後方支援に徹した協会の、平成二十二年事業報告や決算報告を承認いただいた後、新年度の事業計画並びに事業予算についても承認をいただき、無事、全議案を原案可決していただきました。



「まつやま里島ツーリズム協議会」の事務局は、「しまはく実行委員会」の事務局が置かれた企画政策課から中島支所内へと変更され、両部署による連携体制となりました。島民にとっ

♡ 「木婚式」を祝う ♡

松山離島振興協会の設立5周年を記念するとともに、島の定住促進を願うための記念事業『木婚式』を第6回総会の席上開催しました。この事業は、忽那諸島在住で結婚5周年を迎えた、あるいは迎える若い世代のご夫婦に、木工製の記念品を贈り、「いつまでも島に住みながら、次代を担う子どもたちを育ててほしい」との願いを込めた企画です。

記念品を製作いただいたのは、中島大浦でアトリエ「わらんべ工房」を開く木工作家のたなかあつしさん。深く年輪を刻んだ大樹の切り株をモチーフに、島の家族の姿をあつしさんの温かな作風で作品化していただきました。

今回の贈呈の該当カップルとなったのは、中島の児玉賢志さん、まりよさんご夫妻と、昨年、安居島に移り住まれた岡崎俊介さん、律加（りか）さんご夫妻の二組。総会当日は、岡崎さんご主人のみのご参加でしたが、児玉家にも当日に記念品をお届けし、喜んでいただきました。どうぞ、お二組とも、いつまでもお幸せに…。

島の家族をイメージした素敵な作品を贈呈



安居島の住人となった岡崎さん

★ 提 案 Ⅲ



:西瀬戸発『忽那ロマン』に出会える旅

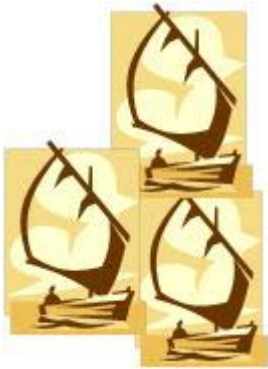
松山市沖に浮かぶ9つの有人離島からなる忽那諸島。松山市のフィールド・ミュージアムの一つであり、市の魅力を支える唯一無二の海洋ゾーンとして松山市にとつての不可欠なエリアになっています。その最西に位置する島津和地島からだと、広島県、愛媛県、山口県の3県が点で接する県境はすぐ間近。お向かい県との密なる連携も、すぐさま模索できようかといったところ。そう、忽那諸島を拠点とした忽那水軍は、まさに西瀬戸の中心に陣をなし、海の大動脈であった瀬戸内海交通の要衝をしっかりと押さえていたのだと言えます。

松山離島振興協会ではこれまで、忽那諸島の魅力創出のアイデアとして、提案Ⅰ「さまざまの島をめぐる事業『島めぐりクルージング』や、提案Ⅱ「宿泊型の体験事業『大人の修学旅行』を実施し、新たな松山市の宝庫である忽那諸島の魅力発掘、並びに魅力発信に努めてきました。それらの流れとともに開催された松山島博覧会は、多くの市民のみなさんの関心を呼び、成功裏に事業期間を終え、今年度からは、新たなステージとしての「まつやま里島ツアーリズム」へと昇華しながら、引き続き、島の活性化のための起爆剤

として、しまびとの心に良い刺激を与えてくれるものと思います。そして今回、新たに松山離島振興協会が提案するのが、提案Ⅲ「中世の忽那一族の隆盛や、その後の忽那の民の海陸に亘る生活の変遷などを紐解く『忽那ロマン』探訪事業です。われらが祖先 忽那一族の生き様を通し、瀬戸内に生きた多くの海の民の系譜をたどり、ふるさとの海と島、そしてそこに暮らした先人の歴史にふれる取り組みとします。

協会では、これまでの事業経験を生かした新たな視点での忽那諸島の魅力発掘に向け、歴史検証のクルージングを開催して、『忽那ロマン』の探訪を広く市民や観光客にアピールし、『忽那ロマン』を新たな観光産業の核に据えたいと考えています。

秋頃に開催のクルージングについては、本紙夏号で詳しく募集告知を行いますので、ぜひ、ご参加ください。



ボランティアガイド養成／しまびとが『忽那ロマン』を語る

瀬戸内海の海人の歴史の中で、ひととき輝いた忽那水軍の活躍を中心に、そこに至るまでの歴史背景や、その後の海人の歴史の変遷を語れるガイドを養成すべく、忽那諸島ボランティアガイド養成に取り組みます。自らの島を語ることの大切さ、伝える喜び、そこから生まれる交流のすばらしさを本養成事業を通じ具現化していきたいと考えています。しまびとが語る、忽那諸島の歴史物語を乞うご期待！



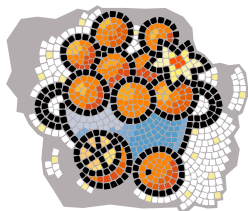
【地域産業部】

島の魅力は何と言っても柑橘のおいしさ。観光客のみなさんが訪れる「道後 湯あがり朝市」でも、柑橘がなければまるで主役のいない舞台のよう。お客様の足を止めることはできません。ただこれからの季節、ハウスマカンが出回るまでの間はオレンジ色の商品群を欠く時期となります。でも島にはビワや桃といった特産品があり、またそれぞれの季節で豊かな魚介にも恵まれていますので、勝負できる材料には事欠きません。魅力あふれる商品で、引き続き、島の魅力をPRします。

《お問い合わせ・お申し込み》

副部長 石丸和久

TEL997-2598



【観光振興部】

標高282mの小富士山は、まさに興居島のシンボル。その美しい形状は、富士の名に恥じることはない島の誇りです。ただし頂上への道のりはかなりきつめ。最短ながら急こう配の上りが続きます。でも到着した山頂からの眺めは最高。これこそが協会メンバーが3年に亘り竹刈り作業に勤しんだ成果です。しかし繁殖力旺盛な竹群の、浸食との戦いに終わりはありません。多くの登山者のためにも、ぜひ、みなさんの力をお借りしたいと思えます。求む、ボランティア・スタッフ！

《お問い合わせ・お申し込み》

顧問 山田 寿

TEL964-4502



【しまづくり部】

『木婚式』記念品のモチーフとなった木の切り株。その切り口から見られる年輪は、樹木の成長の足跡が刻まれたものであり、木々が置かれた環境の変化を読み取ることができるものです。人間の場合、木の年輪にあたるかどうかは分かりませんが、顔のしわや手などから、その人の人生が伝わる場合があります。人が生きていくのは容易なことではなく、苦労や悩みの連続かもしれません。でも生きてさえいれば、きっといいこともあるだろうし、まだまだすばらしい出会いが待ち受けていると思います。次代を担う若い人たちには、そんな素敵な人生をぜひとも島で送っていただきたいと願っています。

《お問い合わせ・お申し込み》

部長 内藤久司

TEL998-0606



ホームページのアドレスが変更になりました！

<http://www.island-matsuyama.com>



☆ 松山離島振興協会は、会員のみなさんの会費によって運営されています☆

☆ あなたも会員になって、いっしょに活動しませんか☆